

相生学院

昨年の雪辱果たす

初優勝 一戦ごとに成長実感

全国選抜高校テニス

第33回全国選抜高校テニス大会は25日、福岡市の博多の森テニス競技場で男女団体の決勝があり、県勢の男子の相生学院が、3連覇を目指した湘南工大付(神奈川県)を破って初の頂点に輝いた。

相生学院は、第1複でボレーを連発して快勝。第2単の斉藤貴史選手(1年)がラリー戦を制して「王手」をかける。第2複は巧みなりターンで次々と加点し、粘る相手を突き放した。池川浩史主将(2年)は「チームは大会を通して強くなっていった。昨年大会で負

◇男子▽決勝

相生学院3(単100 復2100) 湘南工大付(神奈川県)

河	池	衣	衣	切
内	川	藤	山	切
215	66	66	66	16
573	621	621	41	23
今	及杉	高	関高	松
	川本	田	谷橋	崎

けた相手に勝って優勝できたので、とにかくうれしい」と胸を張った。

荒井貴美人監督の話「選手たちは、ラケットを強く振るなど練習の成果を發揮し、それぞれの役割を果たしてくれた。それが結果につながった」

テニス 相生学院が初優勝

全国高校選抜大会

24日はテニス男女団体の決勝があり、男子は兵庫の相生学院が3-0で3連覇を狙った湘南工大付(神奈川県)を破り、初優勝を飾った。相生学院は第2シングルの斉藤と第1ダブルスの池川、

細川組、第2ダブルスの衣川、諫山組がいずれもストレート勝ちした。

創部3年目 一丸の完全V

○初優勝に王手をかけ、第2ダブルスもマッチポイント。諫山のサーブで相手リターンがネットにかかると、相生学院の選手たちは歓声を上げながら抱き合った。創部3年目での全国制覇。池川主将は「一戦ごとに自

信をつけ、チームも一丸になった」と声を弾ませた。

エース河内をはじめ、決勝まで誰も黒星を喫さない完全優勝だった。「それぞれが役割を果たしてくれた。意識を高く練習してきた成果が出た」と荒井監督。明石城西を率いて何度も全国上位に入ったが、優勝は初めて。「30年目で夢かかった」と感慨深げに話した。

- 相生学院 3(単100 復2100) 湘南工大付(神奈川県)
- 池川 6-21 杉本
- 細川 6-21 及川
- 斉藤 6-21 高田
- 衣川 6-21 高橋一
- 諫山 6-41 関谷
- (相生学院は初優勝)
- 【女子】団体決勝
- 秀明八 3(単310 復0120) 2(愛媛)
- 千代 3(単310 復0120) 2(福井)
- (千葉)
- (秀明八千代は初優勝)



初優勝し、表彰式で優勝旗を受け取る相生学院の選手たち